



明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第84号 平成21年12月発行

○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



鷺山地域 地域のシンボル「鷺山の森」の整備活動

- ・総合学習で森整備！！（11月15日）
- ・今年も作りました！新年の門松（12月23日）

○ふるさとふれあい活動で森整備！！

秋も深まり、色鮮やかなコナラの落葉が目立つようになった11月15日（日）に鷺山小学校5年生の総合的な学習として、**地域のシンボルである鷺山の森の整備活動**が行われました。

一昨年から森林整備活動を行っている鷺山小学校PTAの皆さんも子どもたちのフォローに入って、親子協力して整備活動に取り組みました。

前半は山に積もっている落ち葉を1ヶ所に集めて、堆肥づくりを進めました。昨年集めた落ち葉の様子を観察した児童は、**落ち葉がホクホクの土に変わっている**と驚くと共に、微生物の働きに関心を示していました。

後半は、木々が生い茂って暗くなっている森を間伐して、森を昔ながらの明るい里山にする整備活動に取り組みました。



地域の人と一緒に子ども達が鷺山の森の整備活動に取り組んでいます。

森の落ち葉を集めて堆肥づくりをしました





鷺山の森から切り出したコナラのほだ木に、ナメコの菌を植え付ける準備をしました。電動ドリルを使って菌を植え付ける穴あけを行いました。慣れないドリルに苦労していました。

グループに分かれた児童たちは、「この木を切ったらここが明るくなるよ!!」「こっちの木を切ってすっきりさせよう」等とお互い声を掛け合いながら、協力して整備活動に取り組みました。そして、2時間ほどの活動の後には、見違えるほど森が明るくなり、子ども達の頑張りに驚かされました。

○今年も作りました！新年の門松

12月23日には、整備活動で伐採したモウソウチクを使って小学校校門に飾る門松づくりに取り組みました。昨年作ったので今年は要領良く作ることができるかと思いましたが、なかなかそうはいきません。竹を斜めに切る作業一つとっても簡単にはいかないものです。しかし、PTAや子ども会の皆さんが力を合わせてなんとか完成することができました。

○おわりに

元々は鷺山小学校のPTA活動だった鷺山の森の整備活動が、総合的な学習という学校のカリキュラムに組み込まれたことは、素晴らしい成果だと思います。地域住民と児童が一緒になってこれからも地域のシンボルを守る活動を継続してもらえれば、鷺山の森と並んで整備活動そのものが地域の宝物となっていくでしょうね!!



虫の被害で枯れたコナラをチェーンソーで伐採しました。他にも被害木が多くあり、対応が必要です。



大人も子どもたちに負けず、一生懸命整備活動に取り組んでいます!!



今年も立派な門松を作ることができました。毎年、鷺山の竹を使って新年の準備をしています。

岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 自然共生部 自然環境課 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6451） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市の自然のポータルサイト「ぎふネイチャーネット」

<http://www.gifu-nature.net/>

自然環境課ホームページ：<http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html>